



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東
コード番号 1379 URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中田 康平 TEL 026-259-5955
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,849	7.6	△1,248	—	△304	—	△332	—
2023年3月期第1四半期	15,665	2.4	△1,701	—	△594	—	△557	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △117百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △520百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△10.50	—
2023年3月期第1四半期	△17.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	106,957	49,934	46.7
2023年3月期	104,897	50,955	48.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 49,934百万円 2023年3月期 50,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	10.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年3月期の期末配当予想については、現時点では未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	35,800	13.2	△2,730	—	△2,650	—	△2,110	—	△66.58
通期	80,200	9.9	1,920	—	2,110	—	700	—	22.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1 Q	33,359,040株	2023年3月期	33,359,040株
2024年3月期1 Q	1,673,376株	2023年3月期	1,698,816株
2024年3月期1 Q	31,672,114株	2023年3月期1 Q	31,587,881株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど、感染拡大防止のための行動制限の緩和により、経済活動の再開が進み、個人消費や設備投資などの持ち直しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価上昇の影響など、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような経済環境の中、当社グループは消費者の皆様及び従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、きのこ事業を中心として、健康食材である「きのこ」の研究開発、生産、販売を通してより多くの皆様へ、おいしさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。また、「きのこで健康を届けることを使命に市場と消費を拡大する」及び「利益の創出と企業の社会的責任を両立する」を経営ビジョンとして取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高168億49百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業損失12億48百万円（前年同四半期営業損失金額17億1百万円）、経常損失3億4百万円（同経常損失金額5億94百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億32百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失金額5億57百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ11,050 t（同5.8%減）、エリンギ4,418 t（同0.1%増）、マイタケ3,721 t（同0.1%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

「国内きのこ事業」

生産部門におきましては、原材料価格、電力費、包装費などの製造原価が大幅に上昇する中、コスト削減に取り組むとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、衛生管理をより徹底し、品質の向上と安定栽培に努め、安全・安心なきのこを提供してまいりました。

研究部門におきましては、品質管理体制の強化、付加価値の高い新製品の開発、既存のきのこの改良及びきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。

営業部門におきましては、きのこ需要を喚起すべく、健康・美容・スポーツを3本柱とした「きのこで菌活」を提唱し、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。販売面では、今期の初めより生産調整を行ったことにより、きのこの需給が改善し、価格も比較的堅調な動きとなるなど、安定した状況で推移いたしました。

以上の結果、国内きのこ事業全体の売上高は107億76百万円（同11.9%増）となりました。

「海外きのこ事業」

米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、長雨と低温の影響できのこを含め生鮮品販売全体において厳しい状況となりました。加えてエネルギーコスト、原料・資材の高騰により製造原価が上昇したため、売上高及び営業利益は計画を下回りました。台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、野菜相場下落により小売り全体の売上が減少する中、きのこも低調な動きとなり、売上高は計画に対し若干下回りましたが、営業利益は経費削減の効果等により、計画を若干上回ることとなりました。マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、昨年からのインフレの影響で市場環境は厳しい状況が続いている中、中国産のきのこがASEAN域内に安価で大量に輸入され、当社のきのこ販売に大きな影響がでました。その結果、売上高、営業利益共に計画を下回ることとなりました。しかしながら、米国の現地法人におきまして、昨年の後半より2回の値上げを行いました結果、前年に比べ売上高は増加いたしました。

以上の結果、海外きのこ事業全体の売上高は16億57百万円（同7.8%増）となりました。

「加工品事業」

加工品事業におきましては、水煮・冷凍などのきのこの加工品の販売を行うとともに、新商品の開発及び市場開拓に取り組んでまいりました。外食部門はデリカ向け商品や中食向け商品が好調だったほか、青果向け市販用加工商品も乾燥シイタケ・水煮・炊込みご飯の素などを中心に順調な販売となりました。一方、中食、コンビニエンスストア向けの業務用生鮮きのこの販売、冷凍きのこの商品の販売は苦戦いたしました。通販事業では、乾燥シイタケなど値上げしたにもかかわらず好調に推移し自社ECサイトを中心に売上は伸長いたしました。また、子会社の株式会社アーデンにおきましては、4月より値上げをした影響で受注が減少したため、売上高は計画を下回りました。

以上の結果、加工品事業の売上高は15億68百万円（同12.6%減）となりました。

「化成品事業」

包装資材を主要事業とする第一営業部では、品質劣化をおさえる機能性包材や、リサイクル原料を利用した環境包材を中心とした付加価値製品の提案営業に取り組みました。量販店向け売上が堅調に推移する一方、半導体・自動車関連部品関連メーカー向けの工業資材販売は苦戦しました。

自社製品の生産・販売及び農業資材販売を中心とする第二事業部では、引き続ききのこ生産農家様向けに需給がひっ迫する一部生産原料や培地の安定供給に注力したほか、自社製品の品質向上と販売拡大に努めました。

以上の結果、化成品事業の売上高は28億46百万円（同5.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は332億4百万円となり、前連結会計年度末より24億13百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金23億65百万円の増加によるものであります。固定資産は737億52百万円となり、前連結会計年度末より3億53百万円減少いたしました。

この結果、総資産は1,069億57百万円となり、前連結会計年度末より20億60百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は388億76百万円となり、前連結会計年度末より9億39百万円増加いたしました。固定負債は181億46百万円となり、前連結会計年度末より21億41百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金21億59百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は570億22百万円となり、前連結会計年度末より30億81百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は499億34百万円となり、前連結会計年度末より10億20百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失3億32百万円を計上し配当金9億54百万円を支払ったことによる利益剰余金12億86百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.7%（前連結会計年度末は48.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,031	18,396
受取手形及び売掛金	6,250	5,665
商品及び製品	2,636	3,133
仕掛品	4,308	4,368
原材料及び貯蔵品	1,056	1,090
その他	538	582
貸倒引当金	△31	△32
流動資産合計	30,790	33,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,334	72,004
減価償却累計額	△34,848	△35,625
建物及び構築物(純額)	36,486	36,379
機械装置及び運搬具	67,555	68,360
減価償却累計額	△55,339	△56,858
機械装置及び運搬具(純額)	12,215	11,502
土地	14,506	14,556
その他	2,760	2,813
減価償却累計額	△1,995	△2,027
その他(純額)	765	786
有形固定資産合計	63,973	63,224
無形固定資産		
のれん	9	—
その他	202	191
無形固定資産合計	211	191
投資その他の資産		
投資有価証券	6,681	7,070
退職給付に係る資産	1,127	1,140
その他	2,254	2,271
貸倒引当金	△142	△144
投資その他の資産合計	9,920	10,337
固定資産合計	74,106	73,752
資産合計	104,897	106,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,187	5,960
短期借入金	7,088	11,086
未払法人税等	262	169
賞与引当金	964	721
その他	23,433	20,939
流動負債合計	37,936	38,876
固定負債		
長期借入金	14,072	16,232
退職給付に係る負債	358	362
資産除去債務	1,030	1,048
その他	543	504
固定負債合計	16,004	18,146
負債合計	53,941	57,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,728	5,728
利益剰余金	41,943	40,656
自己株式	△3,151	△3,100
株主資本合計	50,020	48,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,352	1,616
為替換算調整勘定	△357	△411
退職給付に係る調整累計額	△59	△53
その他の包括利益累計額合計	935	1,150
純資産合計	50,955	49,934
負債純資産合計	104,897	106,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	15,665	16,849
売上原価	13,658	14,230
売上総利益	2,006	2,618
販売費及び一般管理費	3,708	3,867
営業損失(△)	△1,701	△1,248
営業外収益		
受取配当金	86	87
受取地代家賃	31	40
為替差益	998	777
その他	21	69
営業外収益合計	1,137	976
営業外費用		
支払利息	22	29
投資有価証券売却損	7	—
その他	0	3
営業外費用合計	30	32
経常損失(△)	△594	△304
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
その他	0	—
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△594	△304
法人税、住民税及び事業税	118	245
法人税等調整額	△155	△217
法人税等合計	△37	28
四半期純損失(△)	△557	△332
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△557	△332

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△557	△332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	263
為替換算調整勘定	△25	△53
退職給付に係る調整額	7	5
その他の包括利益合計	36	215
四半期包括利益	△520	△117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△520	△117
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。